

令和2年度 11月号

宝達志水町立宝達小学校



宝達山

目指す児童像

- ☆よく考える子
- ☆思いやりのある子
- ☆たくましくやりぬく子

「さあ、もっと広い世界に進んでいきませんか。」

校長 金谷 外志弘

今年度も11月の終わりに近づき、大晦日を迎える12月となります。コロナ禍というこれまでに経験のない学年で始まりましたが、今年1年の3分の2が経過しました。

1年生は、初めての学校生活の始まりで一人で登下校することや、まだまだ大きく感じるランドセルに勉強道具を詰めて、多くの体験を積み重ねてきました。

もちろん、2年生以上のおみなさんも学年に応じた学習や運動、体験を学校や家庭・地域で積み重ねてきたことと思います。

ここで、ちょっと、家庭で子どもと話してみませんか。

今の学年が終わるまでに何ができるようになりたいですか。そのために、これまでに身につけたことのどんなことが使えそうですか。ちょっと、考え合ってみてください。

子ども達は、日々、何か昨日と違ったことができるようになっていきます。だから、新しいことがわかったり、できたりしていくのです。**新しい何かができるようになると、これまでとは違った広い世界が見えてきます。**

学校では、たくさんの友だちと一緒に学習や運動をすることで、自分と違うアイデアを身につけることの可能性があります。**人はそれぞれ考え方が違いますが、よりよいことを自分ができるようになる、そのことをみんな望んでいるのです。**



がんばったマイ弁当

今までに身につけたことを12月に再確認し、**3学期1月からの自分のジャンプ・成長に生かし、もっと広い世界に進んでいきませんか。**

みんなで楽しく、なわとび大会を！

今、学校では、1月の校内なわとび大会に向けて、学年を超えた長なわ跳びや個人のがんばりを確かめるなわとびカードにチャレンジしています。**子ども達のがんばりを聞いてあげてください。**



10月の再生資源回収にご協力いただき、本当にありがとうございました。

65,330円の収益がありました。児童の教育活動に活用させていただきます。